

事務事業名	むし歯予防教室		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	なし
政策名	05	安心して暮らせる保健医療環境づくり	所属部門	住民福祉 部	保健福祉 課
施策名	12	生涯を通じた健康づくり	課長名	江口 久子	担当者名
基本事業名	31111	健康づくりの充実	予算科目	会計 款 項 目 事業	乳幼児保健事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 53 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 公立芽室病院に委託し、月2回保健福祉センターを会場に実施。内容は公立病院の歯科医師・事務、と町の雇いあげの歯科衛生士による歯科検診・フッ素サホライド塗布・歯磨き指導等を実施。周知は広報する等に対象となる月齢を案内。健診料として700円を自己負担いただく。	全体計画	(単位:千円)
	特定財源	
	一般財源	
	その他	
	事業費計 (A)	
	正規職員従事人数	
人件費		
人件費計 (B)		
トータルコスト(A)+(B)		

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 対象児が6か月ごとにフッ素塗布を受けられる様、月2回設定。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア むし歯予防教室の開催日数 日数 イ むし歯予防教室への受診者数 ウ
17年度計画 町の事業としては廃止。	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 1歳6か月から就学前までの乳幼児の人数 人 イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 1歳6か月から就学前の幼児とその親	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア むし歯予防教室の参加率 % イ 歯科保健指導に関して良かったと回答した参加者の割合 ウ むし歯予防対策を実施した参加者の割合
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) むし歯予防対策に関する知識が得られる。(むし歯にならないようになる)	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア むし歯保有率(3歳) 本 イ 一人あたりのむし歯本数(3歳) ウ (発達遅滞時の割合)
結果(どんな結果に結び付けるのか) 幼児のむし歯を減らす (幼児期の健康を保つ)(健康づくりの習慣を身につける)	

(2) 総事業費・指標等の推移								
	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)
投入量	事業費	千円	1,152	1,169	969			
	一般財源	千円						
	その他	千円						
	事業費計 (A)	千円	1,152	1,169	969	0	0	0
	人件費	人			0.0027			
正規職員従事人数	年間							
人件費計 (B)	千円	0	0	25	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,152	1,169	994	0	0	0	
活動指標	ア 日数	24	24	24	0	0	0	
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人	1824	1859	1859				
	イ							
	ウ							
成果指標	ア %	42.6	36.8	36				
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア 本	42.4	33.2	33				
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 保健所が実施していたが検診回数が少なく適切な時期に計画できないこと、公立芽室病院で検診の体制がとれたことから町単独で実施に至る。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 就労する親が増えてきており、時間的な問題により利用しにくい状況にある。参加率は減少傾向。現状の開催時間は1時半と3時開始。むし歯に対する親の意識は大きく分化され、熱心な親とそうでない親の差が広がっている。3歳児のむし歯保有率は3割程度であり、減少傾向にある。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 時間的な問題から受診しづらいという対象者からの声がある。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	幼児とその親にむし歯予防対策に関する知識をもってもらうことは幼児のむし歯を減らすことに結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	むし歯予防を推進していくことは疾病予防対策として医療費の面からも大きな役割を果たすので町として推進していくべきである。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	幼児期の早い段階でむし歯予防習慣付けに力をおくことが効果的。意図に関してはむし歯の発生率がまだ引き下げる余地があることから現状の意図での継続が望ましい。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	参加率は減少傾向にあることから、成果向上余地は大きい。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	むし歯の子どもが増加し、歯科医療費の増加につながる可能性があるだけでなく内科などの医療費に結びつくことが考えられる。
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	現在のむし歯予防教室と検診を統合し、検診時に歯科指導をしっかりと行い、歯科医院でのフッ素塗布を個人の判断で行なっていただく
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	子どもたちが健全に発達することを促すため、貢献している
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	事業費は委託料が主なものであり、歯科検診と統合することで削減が期待できる。
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	職員は計画立案や広報などを行っており、検診と統合することで、これらの事務は減少する。
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	現状は、検診料の3割負担であり、他の検診事業の水準とも整合しており、適正と考えられる。

3 改革・改善方向の部(PLAN)																						
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持				低下	×		×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			×																		
	維持																					
	低下	×		×																		
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ 今まで委託してきた公立芽室病院歯科医師との協議。(開業歯科医師との協議)																						